

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	西木学校給食センター管理運営費				
担当課係名	西木学校給食センター 課	係	作成者	鈴木 勝久	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画のページ 93
	基本計画	学校教育の充実と教育環境の整備			
	主要施策	地域に開かれた特色ある学校教育の推進			
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	6 項 保健体育費	3 目 学校給食費	
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規 / 継続の区分			
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・学校給食法				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	西木地区の小中学校の児童生徒。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	児童生徒の健康保持増進と体位の向上を目指し、安全でおいしい学校給食を提供し、食に関する指導の充実、安全管理と衛生管理の徹底に努める。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理業務を実施する。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

効果	項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
	活動指標	給食日数	日	190	190	
成果指標	年間給食数	食	88,617	83,804		
	残飯量	kg	7,884	6,910		
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)			46,776	43,773	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他			24,044	22,783
		一般財源			22,732	20,990
	人件費(B)			7,853	8,878	
	職員数			1.0	1.1	
	職員平均人件費			7,853	8,071	
(A) + (B) 投下コスト			54,629	52,651		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			287,521	277,111	
	市民1人当たりのコスト(円)			616	628	
			1,713	1,677		

【事務事業の今までの成果】

学校給食の質の低下を招くことなく、安全でおいしい給食の提供をしている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	学校給食業務の運営合理化を推進するため、給食業務等を民間委託している自治体が増えている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	学校給食の質の低下を招くことのないよう十分に配慮し、安全でおいしい栄養バランスのとれた学校給食の提供。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
B	A 現状のまま継続(実施)	学校給食は有効性や必要性は十分に認められるが、効率性について給食業務委託などに改善の余地があり、B判定と判断した。
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

給食料金やコスト面において改善の余地がある。(業務委託の検討)
 食材調達については地産地消を進めながらも、調達方法について再検討をする。
 給食費の未納対策。(滞納整理)

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B	民間委託等を進め、財政コストの縮減を図り、事業の推進に努めていただきたい。

